

特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
37	障害者医療費の助成に関する事務 基礎項目評価書

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

大分市は、障害者医療費の助成に関する事務における特定個人情報ファイルの取扱いにあたり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを認識し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために適切な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組んでいることを宣言する。

特記事項

評価実施機関名

大分市長

公表日

令和6年6月28日

I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務	
①事務の名称	障害者医療費の助成に関する事務
②事務の概要	大分市障害者医療費の助成に関する条例(平成18年条例第6号)に基づき、障がい者に対し、医療費の一部を助成している。 大分市障害者医療費の助成に関する条例及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号。以下「番号利用法」という。)規定に従い、特定個人情報を以下の事務で取り扱う。 ①申請受付(新規、変更) ②支給資格の認定 ③医療費の助成金の支給 ④受給者情報の管理
③システムの名称	福祉総合システム、団体内統合宛名システム、中間サーバー
2. 特定個人情報ファイル名	
障害者医療費助成情報ファイル	
3. 個人番号の利用	
法令上の根拠	○大分市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例第4条第1項 別表第1の2の項
4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携	
①実施の有無	[実施する] <選択肢> 1) 実施する 2) 実施しない 3) 未定
②法令上の根拠	1. 情報提供 なし(障害者医療費の助成に関する事務において情報提供ネットワークシステムによる情報提供は行わない) 2. 情報照会 番号利用法第19条第9号
5. 評価実施機関における担当部署	
①部署	大分市 福祉保健部 障害福祉課 企画部 情報政策課
②所属長の役職名	障害福祉課長 情報政策課長
6. 他の評価実施機関	
7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求	
請求先	大分市 総務部 総務課 情報公開室 〒870-8504 大分県大分市荷揚町2番31号
8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ	
連絡先	大分市 福祉保健部 障害福祉課 〒870-8504 大分県大分市荷揚町2番31号 電話 097-534-6111(代表)

II しきい値判断項目

1. 対象人数		
評価対象の事務の対象人数は何人が	[1,000人以上1万人未満]	<選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上
いつ時点の計数か	令和6年6月1日 時点	
2. 取扱者数		
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か	[500人未満]	<選択肢> 1) 500人以上 2) 500人未満
いつ時点の計数か	令和6年6月1日 時点	
3. 重大事故		
過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか	[発生なし]	<選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし

III しきい値判断結果

しきい値判断結果
基礎項目評価の実施が義務付けられる

IV リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類		
[基礎項目評価書]		<選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書 2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
3. 特定個人情報の使用		
目的を超えた紐付け、事務に必要なのない情報との紐付けが行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託 [○]委託しない		
委託先における不正な使用等のリスクへの対策は十分か	[]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) [○]提供・移転しない		
不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か	[]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
6. 情報提供ネットワークシステムとの接続 []接続しない(入手) [○]接続しない(提供)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
不正な提供が行われるリスクへの対策は十分か	[]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
7. 特定個人情報の保管・消去		
特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
8. 監査		
実施の有無	[○] 自己点検 [○] 内部監査 [] 外部監査	
9. 従業者に対する教育・啓発		
従業者に対する教育・啓発	[十分に行っている]	<選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない

変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和2年4月1日	所属長	障害福祉課長 原田 耕一 情報政策課長 佐藤 善信	障害福祉課長 永田浩貴 情報政策課長 林 浩一	事後	
令和2年4月1日	Ⅱしきい値判断項目	平成31年4月1日時点	令和2年4月1日時点	事後	
令和6年6月28日	1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務 ①事務の概要	大分市障害者医療費の助成に関する条例(平成18年3月28日条例第6号)に基づき、障がい者に対し、医療費の一部を助成している。 大分市障害者医療費の助成に関する条例及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年5月31日法律第27号。以下「番号法」という。)規定に従い、特定個人情報を以下の事務で取り扱う。 ①申請受付(新規、変更) ②支給資格の認定 ③医療費の助成金の支給 ④受給者情報の管理	大分市障害者医療費の助成に関する条例(平成18年条例第6号)に基づき、障がい者に対し、医療費の一部を助成している。 大分市障害者医療費の助成に関する条例及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号。以下「番号利用法」という。)規定に従い、特定個人情報を以下の事務で取り扱う。 ①申請受付(新規、変更) ②支給資格の認定 ③医療費の助成金の支給 ④受給者情報の管理	事後	
令和6年6月28日	3. 個人番号の利用 法令上の根拠	○番号法第9条第2項	○大分市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例第4条第1項 別表第1の2の項	事後	
令和6年6月28日	4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携 ②法令上の根拠	1. 情報提供 なし(障害者医療費の助成に関する事務において情報提供ネットワークシステムによる情報提供は行わない) 2. 情報照会 番号法第19条第17号 番号法第19条第17号に規定する特定個人情報保護委員会規則(未設定)	1. 情報提供 なし(障害者医療費の助成に関する事務において情報提供ネットワークシステムによる情報提供は行わない) 2. 情報照会 番号利用法第19条第9号	事前	
令和6年6月28日	Ⅱしきい値判断項目 1. 対象人数	令和2年4月1日時点	令和6年6月1日時点	事後	
令和6年6月28日	Ⅱしきい値判断項目 2. 取扱者数	令和2年4月1日時点	令和6年6月1日時点	事後	